



GP2611 残圧計 取扱説明書

はじめに...

まえがき

お買い上げいただきありがとうございます。

本書はレジャーダイビング用残圧計 GP2611 をご使用いただくためのガイドブックです。

本書は、潜水指導団体の講習を受けCカードを取得し、残圧計の正しい使用方法を身につけた方はもちろん、潜水指導団体の指導のもとでご使用になる方にも、技術を習得する上でお役に立つものと考えております。本書をよくお読みになり、内容を十分に理解された上で実際にご使用下さいますようお願いいたします。またダイビング前にご覧になれるよう、お出かけの際はいつもお持ちいただく事をお勧めいたします。

本書は紛失なされぬよう大切に保管ください。紛失された際は、お買い上げ店もしくは弊社商品取扱店におたずねください。後日、再発行致します。

主な内容は、使用前の点検、使用方法、かたづけ方、保管と定期点検からなっています。

本製品は、レジャーダイビング用レギュレーターとの組み合わせにより、使用が可能になるダイビング用品です。従いまして、レギュレーターの正しい取り扱いの知識も必要となります。本取扱説明書とともに、ご使用になるレギュレーターの取扱説明書をご利用ください。

また、レギュレーターの機種によっては、本製品との組み合わせによる使用に適さない事も考えられます。ビーイズム社製レギュレーターとの組み合わせによるご使用をお勧め致します。

残圧計の設計内容に関する不断の研究・改良の結果、本書の内容の中にお買い上げの製品と詳細において異なる場合があります。お買い上げの製品またはこの取扱説明書の内容につきましてのご質問は、右記までご遠慮なくお問い合わせください。

目次

まえがき	1
▲ 必ずお読みください	2
特徴	2
▲ 使用上の注意	3
各部のなまえと仕様	4
使用の準備	5
使用前の点検とセッティング	5
読み方、使い方	6
かたづけ方	6
定期点検・アフターサービス	7
故障?と思ったら	7

本書で使われているマークについて

- ▲ **危険** 守らないと重大な怪我や死亡事故につながる危険性が極めて高い事柄です。
- ▲ **警告** 守らないと重大な怪我や死亡事故につながる可能性がある事柄です。
- ▲ **注意** 守らないと怪我や物損事故が起きる可能性がある事柄です。

【お知らせ】 知っているると便利な操作や解説です。

株式会社ビーイズム

東京都中央区東日本橋3-6-18 NFビル5F

〒103-0004

電話 (03)5640-8126 (代) FAX (03) 5640-8131

必ずお読みください

使用目的

本製品は、レジャーダイビングにおける使用を前提とした潜水器材です。レギュレーターとの接続によりその使用が可能となり、レジャーダイビング時における、「タンク内空気圧力の目安の表示」を行うバックアップ計測器です。
50～200bar 時の圧力計測精度は±20bar です。
より正確な残圧計との併用をお勧めします。

お使いいただく前に

安全にご使用いただくためには、正しい取扱いと定期的な保守が不可欠です。本書ならびにレギュレーターの取扱説明書に示されている安全に関する注意事項をよくお読みになってから、ダイビングを行ってください。

■レジャーダイビングにおいてご使用ください

▲ 警告

- 本製品をレジャーダイビング以外の目的で使用しないで下さい。

■Cカードを取得してからご使用ください

▲ 警告

- 本製品を使用する場合は潜水指導団体の講習を受け、Cカードを取得し器材の正しい取扱方法を身につけた後、または潜水指導団体の指導のもとでご使用ください。人身事故につながる恐れがあります。

■安全に関する注意事項を守ってください

▲ 警告

- 本製品を使用する際は、この取扱説明書に指示されている安全に関する注意事項をすべて守ってください。

■異常があったら使用しないでください

▲ 警告

- 異常があったら使用してはいけません。
- 異常がみられた場合は、お買い上げ店もしくは弊社商品取扱販売店にご相談下さい。正常ではない残圧計の使用は、人身事故につながる恐れがあります。

特徴

本製品の特徴

GP2611には、安全に楽しくご使用いただける機能が盛り込まれています。

■バックアップ・タンク圧力計測機能 (6ページ)

陸上及びダイビング中のタンク圧力の目安をアナログにて表示します。

より正確な残圧計との併用をおすすめします。

■体型に合ったホース長さを選べます (別料金)

ホース長さが550～950mmまで20mm単位で注文できます。(標準長さは750mmです)

■手の感触でタンクの残圧の目安を確認できます

ナイトダイビングや視界不良時に指などで指示ボタンと目盛りボタンに触れることにより、タンク圧力の目安を確認できます。

⚠ 使用上の注意

□安全ルールを守りましょう

潜水指導団体の講習を受け、Cカードを取得し、残圧計の正しい取り扱い方法を身につけた後、あるいは潜水指導団体の指導のもとでご使用ください。

点検等は、バディにも行ってもらいましょう。

一般的なレジャーダイビングの安全範囲である水深30mより深い深度へのダイビングは避けてください。

□体型にあったホース長さをご指定ください

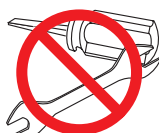
ホース長さが極度に体型と合わない際は、表示が見にくかったり、地面に引きずりぶつけ壊れるなどさまざまな支障が考えられます。体型にあったホース長さをご指定ください。(別料金)

□弊社ホースガードをご使用ください

高圧ホースには、弊社製品以外のホースガード、ホースプロテクター等を取り付けしないでください。ホース破損の原因となる場合があります。

□改造はしないでください

改造は、安全上問題となることがあります。改造はしないでください。改造後のトラブルに関しては、責任を負いかねます。



□薬品類に関してご注意ください

水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、本体およびホースなどに変色や破損を生ずる事があります。



□ショックを与えないでください

通常の使用状態でのショックには十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると故障の原因になります。

□ホースを折ったり、引っ張らないでください

⚠ 警告

●ホースを折ったり、引っ張ったりしないでください。壊れるばかりでなく人身事故につながる恐れがあります。



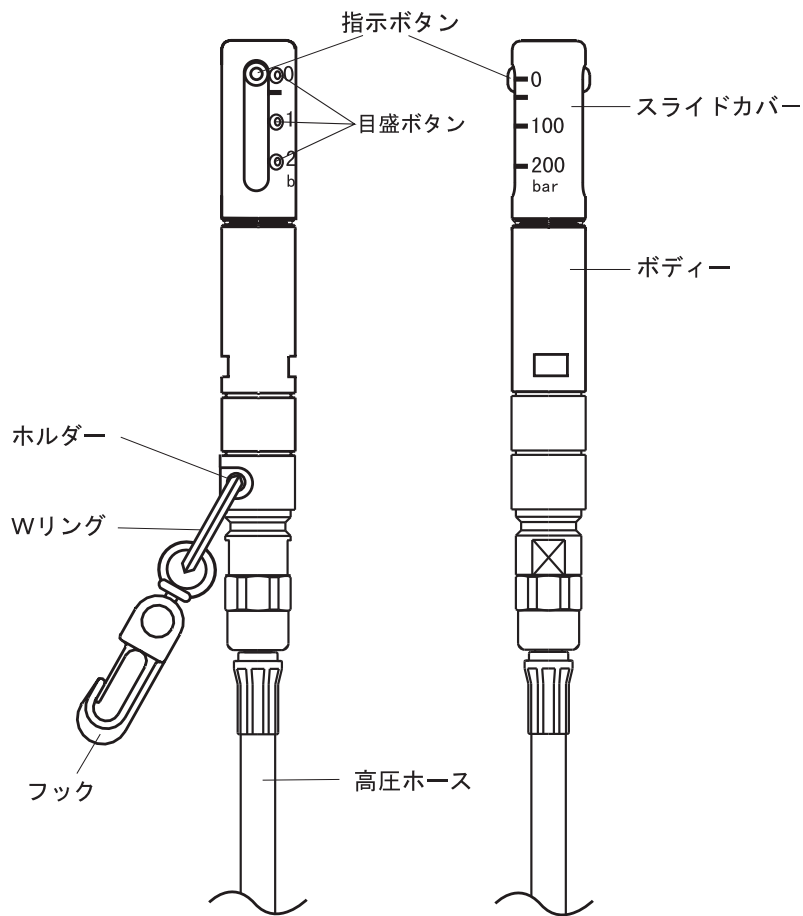
□異常があったら使用しないでください

⚠ 警告

●残圧計に異常があったら使用してはいけません。
●異常が見られた場合は、お買い上げ点もしくは弊社商品取扱販売店にご相談ください。正常でない残圧計の使用は人身事故につながる恐れがあります。

各部のなまえと仕様

本体



仕様

本体

重量	290 g (ホース含む)
圧力計測範囲	0 ~ 200 bar
圧力計測精度	0 ~ 50 bar ±10 bar 50 ~ 200 bar ±20 bar
作動温度範囲	0 ~ +50°C
使用水深範囲	0 ~ 50 m
残圧計	ピストン式
材質	銅合金

ホース部分

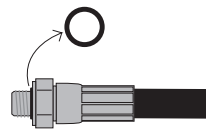
長さ	750 mm
外径	8 mm
内管材質	ナイロン
外皮材質	ポリウレタン
高圧ホース継手ネジの呼び	7/16-20UNF
ホース最高使用圧力	250 bar
最小曲げ半径 (ホース内側)	15 mm
ホースガード	ファーストステージ側標準装備
ホースガード材質	合成ゴム

使用の準備

レギュレーターに高圧ホースを取りつける

▲ 警告

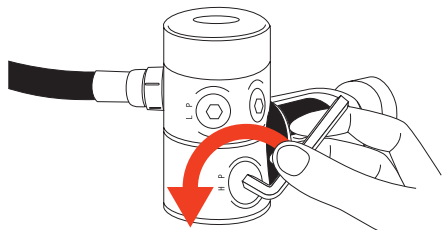
- レギュレーターファーストステージをタンクに接続しない状態で取り付けてください。作業中ファーストステージ内に圧力がかかっていると、ポート蓋が飛ぶなどして危険です。
- レギュレーターは、ファーストステージのH.P.ポートの継手ネジサイズが7/16-20UNFのものをご使用ください。破損を招くだけでなく、ホースが抜けるなどして人身事故につながる恐れがあります
- 高圧ホースの接続ネジ部根元にOリングがセットされていることをご確認ください。Oリングが無い場合エア漏れの原因となります。



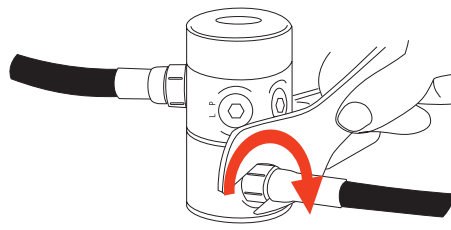
▲ 注意

- レギュレーターファーストステージと高圧ホースの接続は弊社商品取扱販売店で行って下されい。
- ホース金具をスパナで締め付ける際は、9.8 N·m(100kgf·cm)の締め付けトルク（締め付け開始から1/36回転）を守って下さい。ネジ部を痛める原因となります。
- 他社製ホースガードを取り付けないでください。

1 レギュレーターファーストステージのH.P.ポートの蓋を外してください。



2 高圧ホースをH.P.ポートに、スパナで時計方向に回して締め付けてください。締め付けトルクは9.8N·m(100kgf·cm)です。



使用前の点検とセッティング

▲ 警告

- 以下の種々点検により、残圧計に異常があったら使用してはいけません。
- 異常がみられた場合は、お買い上げ店もしくは弊社商品取扱販売店にご相談ください。正常でない残圧計の使用は人身事故につながる恐れがあります。
- 構造上、砂詰まりを起こす恐れがありますので、必ず動作確認を行ってください。砂などの異物が詰まっている場合、タンク圧力の目安となりません。

1 高圧ホースの点検

ホースが破損していないか、折れていないかを点検します。

2 残圧計の「0」指示点検

残圧計の指示ボタンが「0」を指しているか点検します。

3 タンクへのセッティング

▲ 警告

- タンクバルブを開く際、スライドカバーを人や自分の顔から遠ざけ、ゆっくり開いてください。何らかの原因で暴発した際、人身事故につながる恐れがあります。

レギュレーターおよびスクーバダイビング用タンクの取扱説明書に従って、タンクバルブにレギュレーターファーストステージをセッティングし、タンクバルブを開きます。

4 動作確認

スライドカバーの先端を親指や手のひら等で押し、スライドカバーがスムーズに動くことを確認してください。

5 エアー漏れのチェック

▲ 警告

- エアーの漏れが見つかったときは使用を中止し、タンクよりレギュレーターファーストステージをはずしてください。

レギュレーターファーストステージ接続部、ゲージとホースの接続部接続部等、エアーが漏れていないか点検します。

読み方、使い方

残圧計の読み方

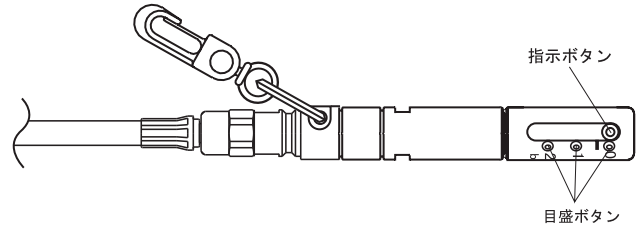
▲ 警告

- 残圧計を読む前に、動作確認を行ってください。(5頁) 正常でない残圧計の使用は、人身事故につながる恐れがあります。
- 目盛りを読む前に、スライドカバーを指で押し、動くことを確かめてください。動かないときは砂などの詰まりにより、指示があっても残圧がゼロの可能性があり、この確認をしないと、空気切れによる溺れ事故の可能性があり、

▲ 注意

- ダイビング終了後においても、タンク内の空気を必ず50bar以上残してください。タンクに水が浸入すると、次回使用時残圧計内部に水が入る恐れがあります。

スライドカバーは指で押し、動くことを確認します。
(残圧ゼロのときは動かなくて正常です)
指示ボタンが指した目盛りが残圧の目安です。



【お知らせ】

○スライドカバーを押したときのストロークで、残圧量を知ることができます。目安は1cmで100barです。

【お知らせ】

○指示ボタンとメモリボタンの位置関係で残圧量を知ることができます。

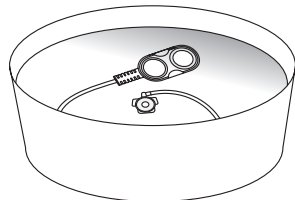
かたづけ方

洗う

▲ 注意

- 50℃以上のお湯に付けると、器材が破損することがあります。
- レギュレーターと組み立てていない状態で水洗いをしないでください。ホース内、残圧計内に水が入り、故障を招きます。
- レギュレーターファーストステージのダストキャップは必ずしっかりとはめてください。ホース内残圧計内に水が入り故障を招きます。

レギュレーターとセットされた状態で全体を15分程度真水につけます。後に、水の中で全体をよくすすぎ塩分と砂などの異物をとります。



乾かす

■直射日光を避け、乾燥した風通しの良い日陰で、十分に乾燥させます。

保管の方法

▲ 注意

- ホースは、自然な形で保管してください。無理な曲げはホースの折れをまねき、寿命を著しく縮めます。
- 自動車内や浜辺など高温状態で放置すると、機能に支障をきたすことがあります。



- 残圧計の洗浄・乾燥を十分に行います。
- レギュレーターとセットされた状態で日が当たらない、涼しく、乾燥した風通しの良い場所に保管します。

定期点検・アフターサービス

定期点検について

▲ 警告

- 使用の有無にかかわらず、定期点検を怠ると残圧計が正常に機能しないことがあります。
- 未使用で1年以上経っている場合も定期点検に出してからご使用ください。

【お知らせ】

- 部品の中には、自然劣化するものもあります。定期点検ではこのような部品の交換も行います。

■ 使用の頻度・回数にかかわらず、年に1回、お買い上げ店もしくは弊社商品取扱販売店に定期点検に出してください。(有料)

保証書について

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取り下さい。
- 所定の事項を記入し、記載内容をお確かめ下さい。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

- 調子が悪いときはまずチェックを

「故障?と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。

- それでも具合の悪いときはサービスへ

買い上げ店、または弊社商品取扱販売店にご相談ください。

- 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

- 保証期間経過後の修理は

修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

- 部品の保有期間について

弊社は残圧計補修用の性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後、最低8年間保有しています。

この部品保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店しくは弊社商品取扱販売店にご相談ください。

故障?と思ったら

修理にお出しになる前に、もう一度点検してみましょう。それでも正常に作動しないときは、お買い上げ店もしくは弊社商品取扱販売店にご相談お問い合わせください。

トラブル内容	主な原因	処置	ページ
残圧計が動かない	○タンクに空気が充填されていない。	○空気が充填されたタンクに交換してください。	5
	○タンクバルブが閉まっている。	○タンクバルブを開けます。	5
ファーストステージ取付部からエアーが漏れる	○ファーストステージ取付部が緩んでいる。	○スパナで取付部を締め付けます。	5
	○ファーストステージ取付部にゴミがある。	○取り外してゴミを取り除き、再度締め付けます。	5

